

新生活に向け、家具類の安全対策も行いましょう！

新年度に向け、引っ越ししたり、部屋の模様替えをしたり、新たな家具を揃える方もいるのではないのでしょうか。家具や家電製品など（家具類）は重いものも多く、地震の揺れなどにより家具類が転倒・落下・移動した場合、けがや火災の原因になるだけでなく、扉や窓をふさぎ、避難の妨げになることもあります。

東京消防庁によると、近年発生した地震によるけがの約30～50%が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。大きな地震はいつ起こるかわかりません。引っ越しなどで家具を設置する機会に、ぜひ家具類の安全対策を行いましょう。

事故、ヒヤリ・ハット事例

- 観音開きの食器棚の扉が開き、食器類が全部飛び出しながら前に倒れた。
 - 対策をしていなかった腰高の棚を押さえたが、激しく揺れたので手首を打撲し、傷あとが1か月以上残った。
 - テレビを設置している固定された台が数十cmずれ、テレビが倒れてきそうになった。泣く子供をテーブル下に入らせ、声をかけつつ、テレビが倒れないよう押さえ続けなければならなかった。
 - タンスが動いて部屋に入れなくなった。
- ※上記事例は、東京暮らしWEB「ヒヤリ・ハット調査「非常時（震災時）におけるヒヤリ・ハット調査」報告書」より。

安全対策のポイント

- 納戸やクローゼットなど、据え付けの収納スペースを活用し、生活空間に置く家具類の数をなるべく減らしましょう。
- けがや、避難の妨げにならないよう、家具の置き方を工夫しましょう。
- 転倒防止器具は、地震の大きさや取り付ける家具等、条件によっては期待される効果が得られない場合があります。表示されている効果を過信することなく、家具の上下に器具を組み合わせる等、できるだけ効果の高い対策をとりましょう。



◎参考

- ① 《商品テスト結果「家具転倒防止器具の性能」》東京暮らしweb（平成27年3月10日）
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/documents/houkokusyo_nyuuyouziterebi.pdf
- ② 《ヒヤリ・ハット調査「非常時（震災時）におけるヒヤリ・ハット調査」》東京暮らしweb（平成23年8月31日）
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_sinsai.html
- ③ 《家具類の転倒・落下・移動防止対策「地震から命を守る家具転対策(かぐてん対策)」》東京消防庁
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-bousaika/kaguten/index.html>
- ④ 《知ろう・学ぼう・防災知識 自宅での家具類の転倒・落下・移動防止対策》東京都防災ホームページ
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000027/1005737.html>

その他の危害危険情報はこちら。

 東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html>



問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082